

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円
会員限定HPの閲覧

シーズンパス会員



年会費 5,000円
年間のリーグ戦が無料で観戦可能

同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円
同時入会だとさらにお得！

色紙
プレゼント

→中大座談会の様子



←ここだけの情報満載
中大座談会の様子



入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式HP内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス 7F
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ
E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを
ゲートにて500円(税込)
で販売しております！

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください！

集中応援情報

【第8節】

*朝鮮大学校
5月10日(日)11:30 Kick Off
vs 東海大学
◎朝鮮大学校グラウンド

*東京学芸大学
5月10日(日)13:50 Kick Off
vs 産業能率大学
◎朝鮮大学校グラウンド

皆様のご来場

お待ちしております♪

大

J R 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM



Division 2 2015-No.7

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ

連戦で勝ち点を積み上げられるのは…

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは第 6 節を終え、ゴールデンウィークの連戦に差し掛かった。開幕から連勝を続ける日体大は東大に 2-0 で勝ち、またもや連勝記録を伸ばして首位を独走。2 位の関学大も第 5 節まで負けなかったが、退場者が出て 10 人の拓大を相手に 1-2 と今季初の黒星。逆に、ここまで勝ち点を獲得できていなかった産能大は、今季から 2 部に降格してきた東国大を相手に 4-2 と初勝利を挙げた。同じく今季から 2 部に舞台を移した筑波は日大との一戦。日大は前半を 1-2 とリードで折り返したが、後半からの筑波大の怒涛の反撃に耐えられず 4-2 と筑波大が勝ち越した。

これまで総得点数を積み上げ、上位 2 チームを追隨してきた東洋大だったが、今節は朝鮮大に 0-2 で完敗。朝鮮大は今季初勝利で勝点を伸ばした。一方、なかなか勝ち点を伸ばせずにいる東海大は、青学大

得点ランキング	アシストランキング
進馬 将也(東洋大) 7 点	仙頭 啓矢(東洋大) 5 アシスト
高井 和馬(日体大) 6 点	木村 颯人(関学大) 5 アシスト
北川 稜斗(筑波大) 6 点	藤田 優人(拓大) 3 アシスト
仙頭 啓矢(東洋大) 5 点	金 秀勇(朝野大) 3 アシスト
	戸崎 祥郎(筑波大) 3 アシスト

から先制点を奪うも逆転され初勝利をあげることはできなかった。

暑さの増す天候の下、中 2 日というハードスケジュールを味方のできるのほどこの大学になるのか。前期のヤマ場ともいえるこの連戦。その 2 戦目となるこの第 7 節は、各大学にとって大事な試合になるのは間違いない。

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 2 部星取表

[2 部第 6 節終了時]

チーム名	日体	関学	東洋	筑波	青学	東洋	東国	拓大	朝鮮	日本	産業	東海	勝点	勝数	分数	負け	総得点	得失点差	順位		
日本体育大学				100	301	200	300	201			401		18	6	6	0	15	3	12	1	
關東学院大学					502	504		102	100		201	301	15	6	5	0	1	17	10	7	2
東洋大学						121		201	002	400	401	701	13	6	4	1	1	18	6	12	3
筑波大学	001								402	402	501	201	12	6	4	0	2	15	8	7	4
青山学院大学	103	205								323	401	200	201	10	6	3	1	2	14	13	1
東京学芸大学	002	405	121	100			200						7	6	2	1	3	8	9	-1	6
東京国際大学	003								020	100	204	300	7	6	2	1	3	6	9	-3	7
拓殖大学	102	201	102						323	121		222	6	6	1	3	2	10	11	-1	8
朝鮮大学校	001	200	204	323				020	323				6	6	1	3	2	10	11	-1	8
日本大学			004	204	104	100	001	121					4	6	1	1	4	5	14	-9	10
産業能率大学	104	102	104	105	002			402					3	6	1	0	5	8	19	-11	11
東海大学	103	107	102	102			003	222					1	6	0	1	5	6	19	-13	12

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



体育会系学生のための
リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会系学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



関東学院大学 VS 日本大学

5月5日(火・祝)
11:30
横浜

前節、拓大に1-2と今季初黒星を喫した関学大。6分にPKで先制され、すぐ10分に同点としたものの、24分には勝ち越しを許した。36分には相手が出場者を出したことで数的優位となり、後半はシュート10-0と攻めながら得点できなかった。「数的有利で得点を取れなかったことより、安易な失点の仕方だったことが原因」（石村大監督）。中2日で気持ちの切り替えが必要だ。

対する日大は前節、筑波大に2-4で敗れた。これで3試合連続の4失点で3連敗と、苦しい戦いが続いている。筑波大には、17分に先制を許しながら27分に相手のミスに乗じて同点、38分には勝ち越しと互角以上の戦いを進めたが、後半3点を献上して万事休す。守備を厚くして粘ったものの、筑波大の波状攻撃の前には最後まで耐え切れなかった。まずはいかに失点を減らせるか。

3回警告: 普光院誠(関学大)、榎野行(日大)
出場停止: なし
昨年度の対戦: 関学大4-2日大/関学大1-0日大

石塚龍成(関学大・FW・1年)

初先発ということで気分が良かった。自分がゴールを決めて勝ちたいと思っていたが、結果負けしなくて良かった。
次はしっかり勝利に導けるように、二連戦連発のゴールを狙ってきたい。



岡田洋平(日大・MF・2年)

チーム全体でシュートが少なかったので、思いっきりシュートを打っていいところ掛けていた。いつも以上に前半は良い戦いができたが、後半は自分たちのペースでできなかった。失点を重ねてしまい、負けてしまったので悔しい。3連敗と負けが続いているので、次は何としても勝てるように頑張りたい。



日本体育大学 VS 東海大学

5月5日(火・祝)
11:30
岐阜

ただ1チーム、開幕からの連勝を続けている日体大。前節も東学大を2-0で下し、攻守とも安定した力を発揮している。東学大に対しては45分・88分と、前後半とも終了間際という良い時間帯に得点を奪った。2試合連続無失点で、6試合を通して1も試合で1点以上は許していないという、守備面のバランスの良さが目立つ。単独首位に立ち、どこまで連勝を伸ばせるか。

一方の東海大は未だに勝利がない。前節は青学大に対し、6分に先制点を奪って上々の立ち上がりを見せたものの、13分・17分に失点して逆転負け。チャンスも作れなかったわけではないが、「守備がいっぱいいっばいで、奪って攻めにくい」（後藤太郎監督）。関東リーグに慣れてきた面もあるが、力の差を感じる部分があるのも事実のよう。首位チームをどこまで抑えられるか。

3回警告: 増谷幸祐(日体大)
出場停止: なし
昨年度の対戦: なし

川戸大樹(日体大・MF・3年)

天候にも響くことなく全体的に良い流れで試合はできなかったが、点を取るタイミングが前半、後半であったのでチャンスとすることができて良かった。
連戦で疲れも出てくると思うが、コンディションをしっかり整えて良いプレーができるように準備したい。



中山一毅(東海大・MF・2年)

先制点を取ったのに失点してしまった。勝ち切らなければならない試合だったと思う。
得点については、自分の形を取ったのでよかった。



青山学院大学 VS 東京学芸大学

5月5日(火・祝)
13:50
岐阜

3連勝を飾った青学大。前節は、下位に苦しむ東海大を2-1で下した。立ち上りの6分に先制点を許すも、素早く反撃して13分・17分と得点を逆転。相手勢いづける前に流れを断ち切った。失点が減ってきたことで連勝につながっている。「(今日は)鋭いカウンターを狙ってくるチームに対してリスク管理ができた」（福永泰監督）。今節はいかに球際で優位に立てるかが鍵だ。

対する東学大は前節、首位の日体大と対戦して0-2で敗れた。前半から日体大にボールを回されながら、粘りの守備を見せていたものの、前半終了間際の45分に先制点を許す。反撃は日体大の高さや強さのあるDF陣に跳ね返され、逆に88分、決定的な追加点を奪われた。今節もボール保持力のある青学大が相手だが、プレスをかけつつ、いかに有効な攻撃につなげられるか。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度の対戦: 青学大0-2東学大/青学大1-0東学大

恵龍太郎(青学大・MF・4年)

前半に決められるところで決められなかったのが、後半に苦しむようになってしまった。しっかりと決めたいけれどもっと楽な試合ができたと思う。
ボールを持ったらずくにシュートを打とうという考えだったので、おもいきりシュートを打ったことが得点につながったと思う。
中2日と間が短いから疲労回復をさせて、また得点に絡んで勝利に貢献したい。



石川将人(東学大・DF・2年)

チームとしては負けましたが、個人としては良い収穫になった。仕掛けてきた1対1にもしっかり対応できた。次の試合に繋がれると思う。そこは前向きに捉えたい。
青学大戦に向けてリカバリーや、過ごし方を整えて、チーム全員で準備していきたい。



東京国際大学 VS 東洋大学

5月6日(水・祝)
11:30
川口

開幕時の勢いに陰りが見える東国大。前節は産能大に2-4で敗れた。ホームでの初勝利を狙い積極的な攻撃を仕掛けてきた産能大に押されて前半2回の先行を許すも、後半は序盤から攻めて同点。しかし、終盤から2点を奪われた。1試合4失点は今季最多だけに、中2日で引きすぎないことが重要だ。今節も得点力のある東洋大が相手だが、接戦に持ち込み勝機を狙いたい。

その東洋大は前節、朝鮮大に0-2と苦杯を舐めた。直近の3試合で15得点と絶好調だった攻撃陣が抑えられ、今季初の無得点。前半でMF小島正之介(4年)が負傷退場するアクシデントはあったものの、朝鮮大の積極性の前に受け身となり、後半ついに失点。82分に相手に退場者が出たが、シュートに持ち込めたのは前半で4本と攻め切れなかった。初黒星を引きずらずに臨みたい。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度の対戦: なし

堀見一朗(東国大・FW・3年)

前半に2本入れられてしまったので、交代で出場したら点を決めようと思っていた。点を決めることができたけれど、負けてしまったので悔しい。もう1点決められなかったところが課題。最近勝っていないので、勝てるように頑張りたい。



浦上仁蔵(東洋大・DF・1年)

試合前にも勝ち点3を取って勝ち点を積み上げようと言っていたのですが、結局失点してしまい悔しい残る試合になりました。
連戦が始まりますが、しっかり勝って勝ち点を取るようにまた良い準備をしたいと思います。



産業能率大学 VS 朝鮮学校

5月6日(水・祝)
11:30
筑波大

前節、ついに今季初勝利を果たした産能大。昨年1部の東国大に対し、初めて先制点を奪う展開に。前半で2点を先行し、後半の早い時間帯で同点とされたものの、75分・86分に追加点を奪い4-2で勝利した。昨季も得点の固め取りは何度もあった産能大だけに、はまれば得点力を持っている。失点を減らしたいのは山々だが、得点力を安定して発揮できれば勝点は増えるだろう。

こちらも前節、今季初勝利を手にした朝鮮大。負けなしの東洋大に対し、2-0で快勝した。シュート数12-4という数字が示すように、積極性が功を奏して後半に2点を先制。総得点リーグ1位の東洋大を今季初の無得点に抑えた。3試合ぶりに得点を奪えたこと、ここ3試合では失点1と守備面が落ち着いてきたことが勝因。勢いが出てきたチーム同士が落ち着いて戦いたい。

3回警告: なし
出場停止: 金秀勇(朝鮮大)
昨年度の対戦: なし

浜下瑛(産能大・MF・2年)

ホームで集中応援だったので、今日は絶対に勝ちたいと思っていた。後半の立ち上がりで同点に追い付けたらよかったが、その後無失点に自分たちのペースでプレーできて勝ったので、良い試合だったと思う。この勢いを持ったまま、次も勝ちたい。



慎藤紀(朝鮮大・DF・4年)

やっと勝ち点3を取ることができたので嬉しい。5、6節と最少失点で抑えて来ているので今後もつなげていきたい。
GWの3連戦で勝ち点3を取るように頑張りたいと思う。



筑波大学 VS 拓殖大学

5月6日(水・祝)
13:50
筑波大

筑波大は前節、日大を4-2で下し、4位につけている。17分にサイドを崩して良い形で先制したが、27分にクリアミスから失点、38分にも失点して勝ち越しを許す。しかし後半は善さの中で冷静にボールを動かして相手の消耗を誘い、72分・82分と終盤に得点を重ねて逆転した。毎試合、失点しているのは課題だが、2部での試合を重ねて冷静さも出てきた。さらに上位を狙う。

対する拓大は前節、関学大の連勝を止めるとともに今季初勝利を手にした。2人を出場停止で欠きながら、6分にPKで先制、10分に追い付かれた後も24分に勝ち越しして先行する展開。36分にここ3試合で4人目の出場者を出したが、後半は守備に徹しリードを守り切った。「一歩前進と言いたいのが、ポストに助けられるなど運もあった」（玉井朗監督）。今節は攻守のバランスが鍵だ。

3回警告: 新山祐輔(拓大)
出場停止: 大森勇希(拓大)
昨年度の対戦: なし

矢吹龍磨(筑波大・MF・4年)

暑かったので、自分たちでボールを持ちながら相手も動かして、体力を消耗させようということ意識していた。前半、リードしていたのに自分たちのミスで逆転されてしまったが、後半に自分たちのサッカーで取り返すことができたので、大きな勝利だったと思う。もう一つ上を目指して、また勝てるようにしたい。



佐藤真治(拓大・DF・4年)

1人少ない状態できつい時間が多かったが、応援してくれる人たちがいたので最後までやれた。個人的には全然ダメだったが、味方がカバーしてくれたり声をかけてくれたので戦えた。
筑波大は去年まで1部だったチーム。自分たちがどれだけ通用するかわかるチャンスだと思うので、しっかり準備して戦いたい。

